

# 「批判的思考力と対話的スキルを身につけてほしい」

## SSH主任岡田先生に聞くSSH活動の目的



翠巒 Mini Press 第186号 2024/8/22 編集・発行 高崎高校新聞部



高女との課題研究合同発表会の様子

高女との課題研究合同発表会の様子。昨年度は、高崎女子高...

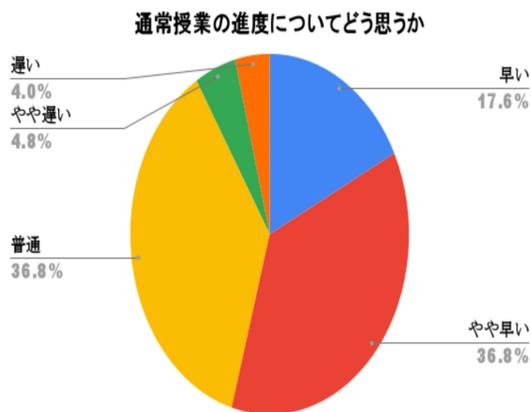
今回は、高崎のSSH主任である岡田直之先生に、SSH活動の目的や、高崎での活動について話を聞いた。

自身で習得して解決を目指す姿勢を身に付けてもらうことが大きな目的だ。また、データの扱い方や、相手に論理的な説明を通して納得・共感してもらう方法も身に付けていく。

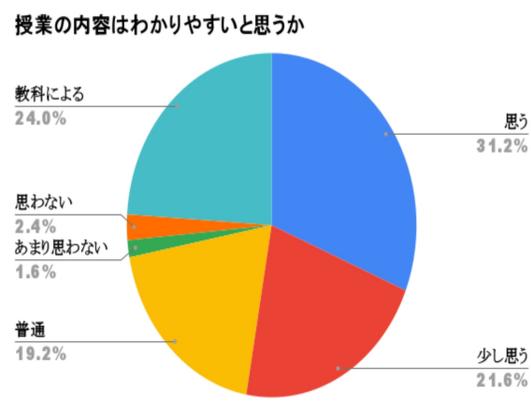
高崎高校（以下高崎）は、文部科学省のスーパーサイエンスハイスクール（以下SSH）の指定校である。SSHとは、先進的な理数教育を実施するとともに、大学との共同研究や国際性を育む取り組みを行なう高校のことだ。令和5年度時点で、全国の218の高崎が指定されている。

校とGメッセ群馬で、課題研究合同発表会を行なった。女性の立場からの視点を補うことができない機会となった。さらに、2年次よりSSHクラスを1クラス設けている。外部の研究者や高崎の理数科目の先生による手厚い指導や支援があるため、より高度な課題研究を希望する人に勧めたい」と述べた。

# 8割近くが「わかりやすい」と答える 高高生に授業アンケート



高高では通常、1日に5〜6コマの60分授業が行なわれる。オンラインスクールに来た皆さんの中には、高崎の授業についていけるのか心配に感じている人がいるかもしれない。そこで、高崎の全高生を対象に、通常授業についてアンケートを行ない、125件の回答を得た。



まず、授業の進度についてどう思っているかを尋ねると、54.4%が「速い」、もしくは「やや速い」と回答した。また、どの教科の進度が特に速いと感じるか（複数回答可）と聞くと、80%を超えて人が、数学と回答した。

次に、授業の内容はわかりやすいかと質問すると、76.8%が「そう思う」もしくは「少し思う」、「教科による」と答えた。教科によると回答した人、どの教科がわかりやすいか（複数回答可）を尋ねると、国語が30票中16票となり最多だった。また、別の統計によると、全校生徒で授業に満足している割合は97%という結果もある。最も力を入れている、もしくは最も時間をかけている教科を聞くと、125票中83票が数学という結果になった。ぜひ高崎生活を考える上での参考にしてほしい。（福田）

## 今年度新入生代表に聞いた 受検勉強の秘訣



新入生代表の久保君

令和6年度入学式で、新入生代表として宣誓を行なった久保見市くん（1の1）に、受検期の過ごし方や勉強方法などを聞いた。

まず、「受検期の間は生活リズムを崩さないことが大切だ。学習効率を保つために、睡眠時間を確保して規則正しい生活をするように心がけた。例えば、私は6時半起床、22時就寝を継続していた。平均勉強時間については、1、2年次は平日2時間、休日は4時間半ほどだった。受検期に入ってから平日3時間半、休日10時間程度だった」と話した。入試前日・当日の心境については、「前日は、試験のことを考えないようにい

つも通り勉強していた。当日は、やるべきことはやったという気持ちで試験に臨んだ」と振り返った。受検生に向けて、「大抵の人は、夏休み頃に部活を引退すると思う。そこで、夏休みにならなければ重要だと考える。実際、夏休み前に高崎の合格圏外だった人が、夏休み後に合格圏に入ったということもあると聞いた。番狂わせが起こりやすい時期でもあるから、上位の人も気をつけたほうがよい。また、早い時期に過去問を解いてみることを勧める。過去問を繰り返し解いておくことで、本番のときに落ち着いて取り組めるし、受検に特化して力をつけることができる。継続して頑張ってほしい」と述べた。（荻野）

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---